

# 2025 年度事業報告

2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 道普請人

## 1. 事業の成果

事業国	事業名	資金源
a) ケニア	1.メル郡における道路整備部門からの生活向上支援*	世界銀行 日本社会開発基金 (JSDF)
	2.若手社員の土のうによる道直し訓練への参加*	阪神高速道路 (株)
b) ウガンダ	1. 道路補修とグリーンワークによる気候変動への適応	令和 6 年度 外務省 N 連
	2. 水資源確保・森林再生・農村インフラ整備を通じた気候変動への地域レジリエンス構築	令和 7 年度 外務省 N 連
	3. 木炭生産地での森林育成のための育苗と植林	令和 6 年度 (公社) 国土緑化推進機構 緑の募金
	4. 植林と持続可能な土地管理による砂漠化防止	令和 7 年度 (公社) 国土緑化推進機構 緑の募金
	5. アタリ灌漑計画周辺コミュニティの気候変動へのレジリエンス構築と生計向上の促進*	株銭高組
c) 東ティモール	1. 土のうを用いた道路補修技術支援	(特非) パルシックが実施する N 連事業への協力
d) ブータン	1. ブータン国「コミュニティ・エンゲージメント・プラットフォームを活用した地域住民の包摂的参加促進プロジェクト」プロジェクトサイトおよび全国展開を目指した、土のう 技術習得WS実施のための調査団派遣	(独) 国際協力機構
e) 国内	1. JICA課題別研修「道路維持管理 (E)」講師派遣	(公社) 北海道国際交流協力センター
	2. 講演、広報活動	団体自己資金

\*当事業は、現地事務所での活動 (活動計算書には含めず)、N 連 : 外務省 NGO 連携無償資金協力

1. 事業の実施に関する事項

1. 事業名、2. 事業内容、3.事業実施期間、4.事業実施国・地域、5. 従事者数、6. 裨益者、7. 事業費について下記にまとめる。

a) ケニア

ケニア\_1 \*ケニア事務所受託事業

事業名)

メル郡における道路整備部門からの生活向上  
支援 (世銀事業：日本社会開発基金 (JSDF))

事業内容)

- a. 若者参加型の支線道路補修
- b. 若者グループの雇用創出支援

事業期間)

2022年4月～2025年12月

実施国、地域)

ケニア共和国 メル郡

従事者数)

4名 (木村、福林、田川、岩村)

裨益者)

直接裨益：1,280名 (4年間の訓練生合計)

間接裨益：63,856名 (道路ユーザー合計)

事業費)

25年度 USD 648,598 (総事業費 USD 2,712,528)

ケニア\_2 \*ケニア事務所受託事業

事業名)

阪神高速道路 (株) 社員の土のうによる道直し  
訓練への参加

事業内容)

「土のう工法」を用いた農道補修訓練

事業期間)

2026年2月5日～6日

実施国、地域)

ケニア共和国 キアンブ郡

従事者数)

3名 (木村、福林、岩村)

裨益者)

訓練参加者：21名

社員：5名

事業費) USD 6,985

b) ウガンダ\_1

事業名)

道路補修とグリーンワークによる気候変動への  
適応

事業内容)

- a. 労働集約と機械施工のハイブリッドで行  
うアクセス道路の補修訓練
- b. 道路排水マネジメントを応用したため池  
の作成
- c. 県政府と協働で行う育苗場の整備と植林  
による森林回復

事業期間)

2025年3月31日～2026年5月30日

実施国、地域)

ウガンダ共和国 中央地域 ナカソングラ県

従事者数)

4名 (木村、福林、田川、岩村)

裨益者)

直接裨益：4,340名

間接裨益：34,300名 (活動対象とする2準郡の  
合計人口)

事業費)

USD 267,066 (37,122,174円 1米ドル@139円)

うち、25年度 USD256,019 (35,586,641円)

ウガンダ\_2

事業名)

水資源確保・森林再生・農村インフラ整備を通し  
た気候変動への地域レジリエンス構築

事業内容)

- a. 多目的貯水池の建設と衛生的な水利用方  
法の研修
- b. 持続可能な森林資源の利用に向けた植林  
と環境啓発
- c. 土のう工法を用いた農道補修

事業期間)

2026年3月31日～2027年3月30日  
実施国、地域)  
ウガンダ共和国 中央地域 カサンダ県  
従事者数)  
3名(木村、福林、岩村)  
裨益者)  
直接裨益:10,131名  
間接裨益:48,533名(活動対象とする2準郡の  
合計人口)  
事業費)  
USD 295,503 (44,325,450円 1米ドル@150円)  
うち、25年度USD2,171.46 (325,719円)

ウガンダ\_3  
事業名)  
木炭生産地での森林育成のための育苗と植林  
(公益社団法人 国土緑化推進機構 緑の募金)

事業内容)  
a) 2育苗場を対象とした苗床拡張整備、種子と  
ツールの配布と播種、給水システム、フェン  
スの整備、育苗技術・育苗場マネジメント・  
資金管理・ビジネストレーニング  
b) 22名の農家を対象とした森林管理ワークシ  
ョップと苗木の配布(40,000株)、44ヘクタ  
ールへの植林

事業期間)  
2024年7月～2025年6月

実施国、地域)  
ウガンダ共和国 中央地域 ナカソングラ県  
従事者数)  
3名(木村、福林、岩村)

裨益者)  
37名(2育苗場スタッフ及び苗木を配布した農  
民の合計)  
事業費)  
25年度804,968円(総事業費2,202,000円)

ウガンダ\_4  
事業名)  
植林と持続可能な土地管理による砂漠化防止

(公益社団法人 国土緑化推進機構 緑の募金)  
事業内容)  
a) 森林再生、商用林設置のための12.5ヘクタ  
ールへの植林  
b) 2準郡におけるアグロフォレストリー、持続  
的土地利用トレーニング  
c) 2小学校合同の環境啓発デーと植樹

事業期間)  
2025年7月～2026年6月

実施国、地域)  
ウガンダ共和国 中央地域 ルウェロ県  
従事者数)  
3名(木村、福林、岩村)

裨益者)  
110名  
事業費)  
25年度1,518,654円(総事業費2,113,000円)

ウガンダ\_5 \*ウガンダ事務所受託事業  
事業名)アタリ灌漑計画周辺コミュニティの気候  
変動へのレジリエンス構築と生計向上の促進  
(株)銭高組からの委託事業)

事業内容)  
a) 土のう工法を用いた道路補修  
b) コミュニティ住民の世帯向けファイナンシ  
ャルトレーニング  
c) アグロフォレストリーの実践と植林  
d) コミュニティ住民との省エネかまど作成

事業期間)  
2026年3月25日～9月24日

実施国、地域)  
ウガンダ共和国 東部地域 ブランブリ県、ク  
ウェーン県  
従事者数)

3名(木村、福林、岩村)  
裨益者)  
350名  
事業費)  
USD87,173 (13,046,812円 1米ドル@155円)  
うち、25年度支出なし

c) 東ティモール

事業名)

女性の生計向上を通じた子どもの栄養改善事業(NPO 法人パルシックが実施する外務省 R7 年度 N 連 3 年次にて協力)

事業内容)

住民参加での道路整備技術支援

事業期間)

2025 年 4 月 21 日～2025 年 5 月 10 日

実施国、地域)

東ティモール アイナロ県マウベシ郡

従事者数)

3 名 (木村、福林、田川)

裨益者) 877 人

事業費) 683,000 円

d) ブータン

事業名)

ブータン国「コミュニティ・エンゲージメント・プラットフォームを活用した地域住民の包摂的参加促進プロジェクト」プロジェクトサイトおよび全国展開を目指した、土のう 技術習得研修実施のための調査団派遣

事業内容)

土のうを用いた道路整備への技術支援

事業期間)

2026 年 1 月 27 日～2026 年 2 月 8 日

実施国、地域)

ブータン国、プナカ県

従事者数)

3 名 (木村、福林、渡邊)

裨益者)

研修参加者数 : 25 人

道路利用者 : 300 人

事業費) 0 円

e) 日本\_1

事業名)

JICA 課題別研修「道路維持管理 (E)」講師派遣  
事業内容) 来日した西アフリカ諸国の道路管理者

9 名に対して、土のう工法を含む農道整備手法についての講義を行った。

事業期間)

2025 年 11 月 10 日

実施国、地域)

日本国内

従事者数)

1 名 (福林)

事業費)

82,774 円

日本\_2

事業名)

国内・講演・広報など共通事業

事業内容)

a. 各地で講演会、広報資料作成、配布

事業期間)

2025 年 4 月から 2026 年 3 月

実施国、地域)

日本国内

従事者数)

12 名 (木村、岸田、日下部、児島、瀧川、田中、若山、中井、高田、北、福林、川勝)

裨益者)

国内、不特定多数

事業費)

8,666,815 円

参考 2025年度 事業報告 事業所別

事業国	No.	事業名	資金源	事業費合計	通貨	25年度事業費	契約事業体
a) ケニア	1	メル郡における道路整備部門からの生活上支援*	世銀事業：日本社会開発基金 (ISDF)	2,712,528	USD	648,598	CORE Kenya
	2	社員の土のうによる道直し訓練への参加*	(株) 阪神高速道路ご寄付	6,985	USD	6,985	CORE Kenya
b) ウガンダ	1	道路補修とグリーンワークによる気候変動への適応	令和6年度 外務省\N連	41,906,661	円	39,595,567	道普請人
	2	水資源確保・森林再生・農村インフラ整備を通じた気候変動への地域レジリエンス構築	令和7年度 外務省\N連	44,325,450	円	325,719	道普請人
	3	木炭生産地での森林育成のための育苗と植林	公社) 国土緑化推進機構 R6年度緑の募金	2,202,000	円	806,679	道普請人
	4	植林と持続可能な土地管理による砂漠化防止	公社) 国土緑化推進機構 R7年度緑の募金	2,113,000	円	1,518,654	道普請人
c) 東ティモール	1	女性の生計向上を通じた子どもの栄養改善事業	* NPO法人ハルシニックとの連携(外務省R6年度\N連2年次)	752,000	円	683,000	道普請人
d) ブータン	1	ブータン国「コミュニティ・エンゲージメント・プラットフォームを活用した地域住民の包摂的参加促進プロジェクト」プロジェクトサイトおよび全国展開を目指した、土のう技術習得WS実施のための調査団派遣	独立行政法人国際協力機構	0	円	0	道普請人
e) 日本	1	JICA課題別研修「道路維持管理 (E)」講師派遣	公益社団法人北海道国際交流協力総合センター	60,500	円	0	道普請人
	2	講演、広報活動	団体自己資金	7,174,822	円	7,650,813	道普請人

2025年度事業費合計

1ドル＝150円

道普請人	円	50,580,432
CORE Kenya (ケニア事務所)	USD	655,583
CORE Uganda (ウガンダ事務所)	USD	0
合計	円	148,917,882

農村部の貧困に苦しむ人々の  
やる気と自信を引き出すために

「自分たちの道は自分たちで直せる」  
という意識を広げたい

## 2025年度上期活動概要



ブータンでの土の工法の簡易デモ

(独)国際協力機構(JICA)の研修で来日したブータンの地方  
行政官が、土の工法を紹介され関心を持ち、帰国後に自分た  
ちで実践しました。道普請人はJICAからの要請を受け、現地での  
土の工法の普及に向けた技術指導を行っています。  
これまでの成果を様々な機関が認知し紹介することで、さらなる  
活動の拡大につながっています。

## 2025年度上期活動内容

主な活動	2025					
	4	5	6	7	8	9
ケニア						
世界銀行:日本社会開発基金(JSDF)(木村、福林、岩村、田川)*1						
ウガンダ						
外務省令和6年度NGO連携無償資金協力事業(木村、福林、岩村、田川)						
国土緑化推進機構 令和6年度緑の募金 国際緑化事業(木村、福林、岩村)						
国土緑化推進機構 令和7年度緑の募金 国際緑化事業(木村、福林、岩村)						
ブータン						
JICA事業での住民への土の工法の指導(木村、福林、渡辺)						
東ティモール						
東ティモール:NPO法人パルシックが実施するN連への専門家派遣(木村、福林、田川)						
国内						
広報活動(木村、岸田、日下部、田中、瀧川、児島、若山、中井、高田、北、福林、川勝)						

\*1 ケニア事務所契約事業

## 主な助成事業等

事業名: 道路補修とグリーンワークによる気候変動への適応

資金協力団体: 令和6年度外務省日本NGO連携無償資金協力

事業期間: 2025年3月31日～2026年3月30日(ウガンダ)

事業名: 木炭生産地での森林育成のための育苗と植林

資金協力団体: 公益財団法人国土緑化推進機構 令和6年度

緑の募金

事業期間: 2024年7月～2025年6月(ウガンダ)

事業名: 植林と持続可能な土地管理による砂漠化防止

資金協力団体: 公益財団法人国土緑化推進機構 令和7年度

緑の募金

事業期間: 2025年7月～2026年4月(ウガンダ)

事業名: メル郡における道路整備部門からの生活向上支援

資金協力団体: 世界銀行(日本社会開発基金(JSDF))

事業期間: 2022年4月～2025年12月(ケニア)

事業名: NPO法人パルシック実施N連事業での、道路整備に関する

技術協力

資金協力団体: NPO法人パルシック

事業期間: 2025年4月21日～2025年5月10日(東ティモール)

事業名: ブータン国「コミュニティ・エンゲージメント・プラットフォーム

を活用した地域住民の包括的参加促進プロジェクト」土のう

技術の導入維持管理調査

資金協力団体: 独立行政法人 国際協力機構

事業期間: 2025年5月24日～2025年6月24日(ブータン)

## 主な広報活動

月日	内容
4月17日	ウガンダにおけるR6年度外務省N連事業が完了し、現地メディアで紹介されました。
5月8日	木村理事長の巻頭言が「基礎工」2025年5月号に掲載されました。
5月18日	日本アフリカ学会第62回学術大会公開シンポジウムで福林理事が登壇しました。
6月1日	2025年度第1回通常総会が開催されました。
6月5日	ケニア・メル郡で実施中の日本社会開発基金事業に関するビデオが世界銀行HPで公開されました。
6月17日	国土交通省主催「APEC質の高いインフラプロジェクト2025: 気候変動に強い都市づくり推進会議」に日下部理事と高田理事が参加しました。
8月21日	TICAD9での国際労働機関（ILO）・国連防災機関（UNDRR）テーマ別ハイレベルイベントにて、岩村理事・アフリカ統括がパネラーとして登壇しました。
8月23日	福林理事および岩村理事がブルーアフリカ・ナイトレションに出席しました。

## 活動報告

### 東ティモール

- NPO法人バルシックが実施するN連事業にて、山間の集落につながる道路整備の技術指導を行いました。



田川専門家と地元住民

### ブータン

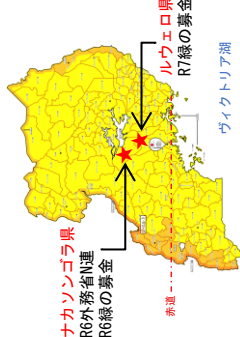
- JICA国内研修で土のう工法を知った行政官が、帰国し実践しました。現地でのさらなる普及のために、JICA事業からの要請を受けて、土のう工法の技術指導を行いました。



地方行政官らに指導する渡辺専門家

## ウガンダ

- 中央地域ナカソングラ県に住民のレジリエンス向上のための新規事業を開始しました。県政府に大型育苗場を建設し、これまで44,400株の苗木を生産しました。また、田川専門家の指導の下、洪水で通行不能な道路250mを補修しました。家畜用のため池を建設し、300頭以上の牛が飲み水を確保できるようになりました。(R6外務省N連)



育苗に励むワーカー達



補修が完了した道路



田川専門家による現場指導



完成したため池

- ナカソングラ県にて、2育苗場への資機材供与、技術トレーニング、インフラ整備を通して苗木の生産性が向上しました。生産数は年間90,000株から285,000株に跳ね上がり、苗木の売り上げも76%向上しました。22名の農民と80,000株44ヘクタールの植林に成功し、森林の消失に悩む県の緑化に貢献しました。(R6緑の募金)

農民との植樹式

- カンパラ近郊のルウェロ県にて事業を開始しました。(R7緑の募金)

## ケニア

- 4月に福林理事がメル郡を訪問し、ムトウマ知事に事業への協力の感謝の意を伝えました。5月には道路・インフラ省の出身で100名の訓練生が3週間の道路維持管理者コースを受け、修了証を受け取りました。50グループの会社登録は佳境を迎えており、今後各々が所望したビジネススタートアップのための資料を受け取り、建設業者の卵として地域を担っていきます。(世界銀行)



メル郡知事への表敬



道路維持管理者コースにおける実地訓練

## 施工延長 (2025年9月末日現在)

	累計 (m)	2025年度上半期 (m)
ケニア	83,166	100
ウガンダ	1,265	250
その他	185,761	0
計	270,542	350

## ◎ お知らせ

道普請人への、ウェブからのご寄付と賛助会員のお手続き方法が、変更になりました。新たな決済サービスを、ご利用ください。詳細は右側QRコードよりご確認ください。



寄付決済 賛助会員

## 認定NPO法人です！

京都市より運営組織及び事業活動が適正であり公益の増進に資する」と認定を受けています。当団体へのご寄付は税制優遇の対象となります。詳しくは当団体ホームページへ

## 問合せ先

認定NPO法人 道普請人  
 事務局: 福林良典  
 Tel: 075-343-7244  
 E-mail: info@coreroad.org  
 URL: <http://coreroad.org/>

農村部の貧困に苦しむ人々の  
やる気と自信を引き出すために

「自分たちの道は自分たちで直せる」  
という意識を広げたい

## 2025年度下期活動概要



ケニア

世界銀行日本社会開発基金事業を担い、完遂  
～27kmの道と1,280人の未来をつないだ4年～

4年間の世界銀行・日本社会開発基金の事業が無事完了しました。  
1,280名への道路補修訓練を通して27.15kmの道路を補修しました。50の会社が立ち上がり、地域の若者の雇用創出に寄与しました。



## 2025年度下半期活動内容

主な活動	2025			2026		
	10	11	12	1	2	3
<b>ケニア</b>						
世界銀行：日本社会開発基金（JSDF）（木村、福林、岩村、田川）*1						
ウガンダ						
外務省令和6年度NGO連携無償資金協力事業 2年次（木村、福林、岩村、渡辺）						
国土緑化推進機構 緑の募金 国際緑化事業（木村、福林、岩村）						
<b>ブータン</b>						
JICA事業での住民への土のう工法の指導（木村、福林、岩村、渡辺）						
国内						
広報活動（木村、岸田、日下部、田中、瀧川、児島、若山、中井、高田、北、福林、川勝）						

\*1 ケニア事務所契約事業 \*2 ウガンダ事務所契約事業

### 主な助成事業等

**事業名：**メル郡における道路整備部門からの生活向上支援

資金協力団体：世界銀行（日本社会開発基金（JSDF））

事業期間：2022年4月から2025年12月（4年事業）（ケニア）

**事業名：**道路補修とグリーンワークによる気候変動への適応

資金協力団体：令和6年度外務省日本NGO連携無償資金協力

事業期間：2025年3月31日～2026年5月30日（ウガンダ）

**事業名：**植林と持続可能な土地管理による砂漠化防止

資金協力団体：公益財団法人国土緑化推進機構 緑の募金

事業期間：2025年7月～2026年6月（ウガンダ）

**事業名：**ブータン国「コミュニティ・エンゲージメント・プラットフォーム

を活用した地域住民の包摂的参加促進プロジェクト」土のう

技術の導入維持管理調査

資金協力団体：独立行政法人 国際協力機構

事業期間：2025年5月24日～2026年2月28日（ブータン）



ムトゥマ郡知事表敬（ケニア世界銀行事業）

### 絵本発刊のご案内

福音書店から月刊たぐさのふしぎ1月号「土のうの道」（絵本）が出版されました。公社）土木学会等、刊行記念イベントにて著者の木村理事長が登壇。その他、新聞やラジオでも紹介されています。



## 主な広報活動

月日	内容
10月8日	ウガンダ事務所、2名の学生ボランティアを受け入れました。
10月23日	本田鈴奈さん(熊本県立大学4年生)、25年6~7月近藤宇晃君(近畿大学3年生)、25年7月活動報告をホームページに掲載しました。
2月10日	ウガンダで進めている「道路補修とグリーンワークによる気候変動対策」の活動現場に、在ウガンダの佐々山大使が視察に来られました。この様子は現地メディアでも放映されました。
3月4日	世界銀行セミナー「日本社会開発基金(JSDF)によるプロジェクト事例」で、プロジェクトマネージャーを務めた岩村理事が事業の紹介を行いました。
3月5日	一般社団法人日本道路建設業協会の機関誌「道路建設」で、道普請人の活動を紹介しました。
3月19日	令和7年度 外務省日本NGO連携無償資金協力の在外供与契約について、在ウガンダ日本大使館で署名式が行われ、正式に契約を締結しました。
3月25日	ウガンダ事務所は、ODA無償資金協力「アタリ流域灌漑施設整備計画」と連携して実施される銭高組のCSR事業について、銭高組と事業実施契約書を締結しました。
3月26日	ブータンでの土のうによる道直しの動画が、ブータン内務省 地方行政・防災局のyoutubeチャンネルで公開されました。

## 活動報告

### ブータン

(独)国際協力機構が行う技術協力プロジェクトの要請を受けて、渡辺専門家が現地での土のうによる道路整備手法の技術指導を行いました。



## ウガンダ

### R6 外務省N連

- 25年6月に整備したため池と道路は適切に維持管理され、地域住民の生活に役立っています。
- 整備した県育苗場では苗木の生産が順調に進み、これまでの植林で約17.5ヘクタールの森林回復に貢献しました。
- 2月には在ウガンダの佐々山大使が現地を訪問し、本事業で建設した育苗場を県政府へ正式に引き渡しました。



佐々山大使による育苗場の視察



N連 苗木生産の様子

### R7緑の募金

- カンパラ近郊のルウェロ県で、2か所・計約12ヘクタールに苗木を植栽しました。
- 農家を対象に、アグロフォレストリー(農地への植林)と農業の生産性向上を目的としたトレーニングを3回実施しました。その結果、さつまいもやキャッサバの品質と収量が向上しています。
- 3月21日の国際森林デーにあたり、2つの小学校で環境問題に関するデイベートとクイズ大会を行いました。



アグロフォレストリートレーニング



小学校における植林

## ケニア

- 道直し研修を受けた住民らにより、50グループの建設会社が登録されました。
- 各グループには、希望するビジネス開始用の資機材を供与しました。一部の会社は、すでに収益を得ています。
- 12月に首都ナイロビで事業普及ワークショップを行い、3年半にわたる事業が完了しました。
- 幹線道路整備に付随した沿線コミュニティのアクセス向上を通じた生計向上に向けたアプローチは、ケニア全土から注目されており、今後の展開が期待されています。



導入した機材を用いたビジネスの視察



事業普及ワークショップ

## 施工延長 (2026年3月末日現在)

	累計 (m)	2025年度 下半期 (m)
ケニア	83,631	365
ブータン	76	76
その他	187,276	0
計	270,983	441

## ◎ お知らせ

道普請人への、ウェブからのご寄付と賛助会員のお手続き方法が、変更になりました。新たな決済サービスをご利用ください。詳細は右側QRコードよりご確認ください。



寄付決済

賛助会員

## 認定NPO法人です!

## 問合せ先

京都市より「運営組織及び事業活動が適正であり公益の増進に資する」と認定を受けています。当団体へのご寄付は税制優遇の対象となります。詳しくは当団体ホームページへ

認定NPO法人 道普請人

事務局: 福林良典

Tel: 075-343-7244

E-mail: [info@coreroad.org](mailto:info@coreroad.org)

URL: <http://coreroad.org/>